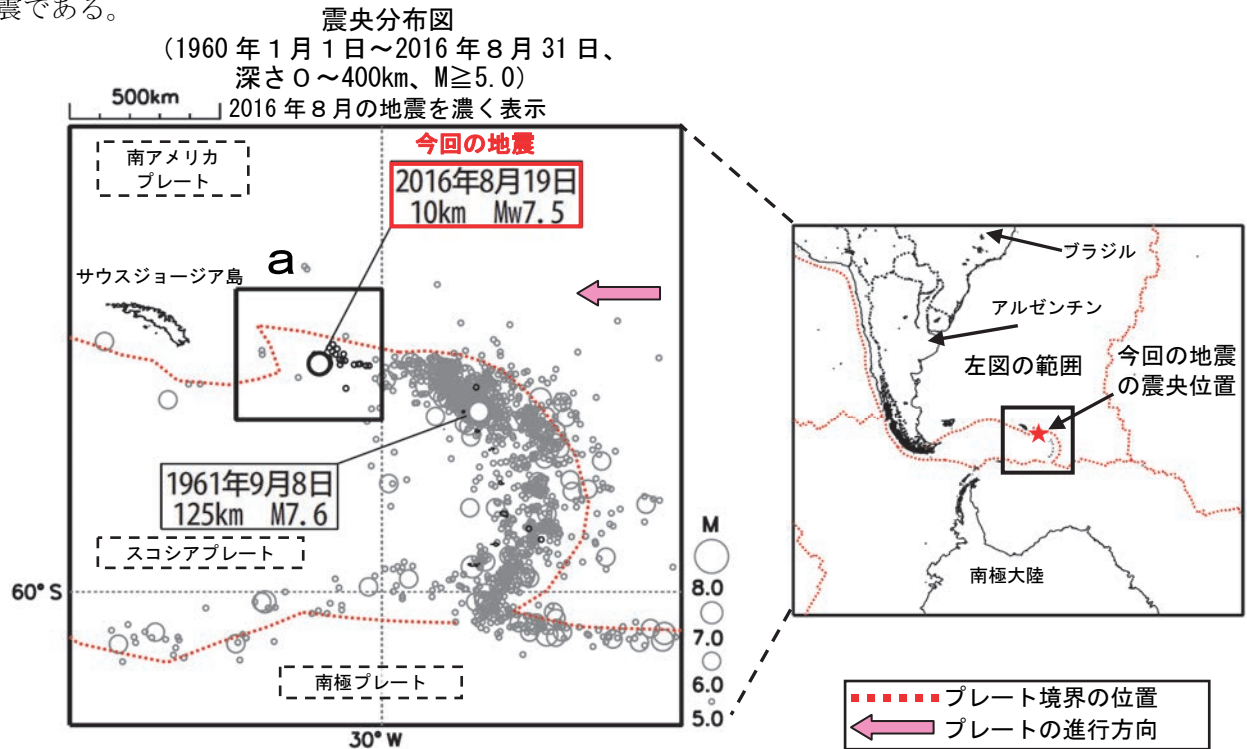


8 月 19 日 サウスジョージア島の地震

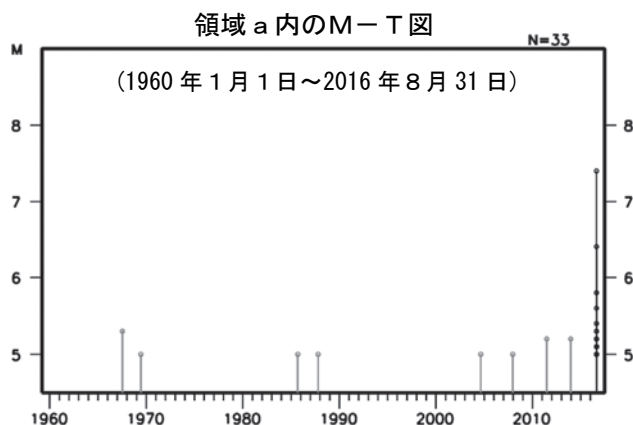
2016 年 8 月 19 日 16 時 32 分（日本時間、以下同じ）にサウスジョージア島の深さ 10km で Mw7.5 の地震が発生した。発震機構（気象庁による CMT 解）は、北東－南西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

気象庁は、19 日 16 時 59 分に遠地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。

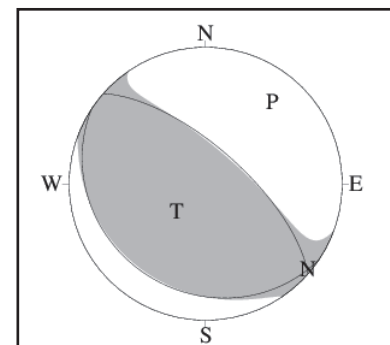
1960 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、M5.0 以上の地震が数回発生しているが、M7 を超える地震は今回が初めてである。今回の地震の南東側では、スコシアプレートの下に南アメリカプレートが沈み込んでいて、これに伴って、地震活動が活発になっている。この領域では、M6.0 以上の地震が度々発生していて、そのうち最大規模の地震は、1961 年 9 月 8 日に発生した M7.6 の地震である。



プレートの進行方向は、南極プレートとスコシアプレートを固定した場合の相対的な方向である。



今回の地震の CMT 解（気象庁）



※本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。震源要素とその他の地震の Mw は米国地質調査所（USGS）による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) *より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.